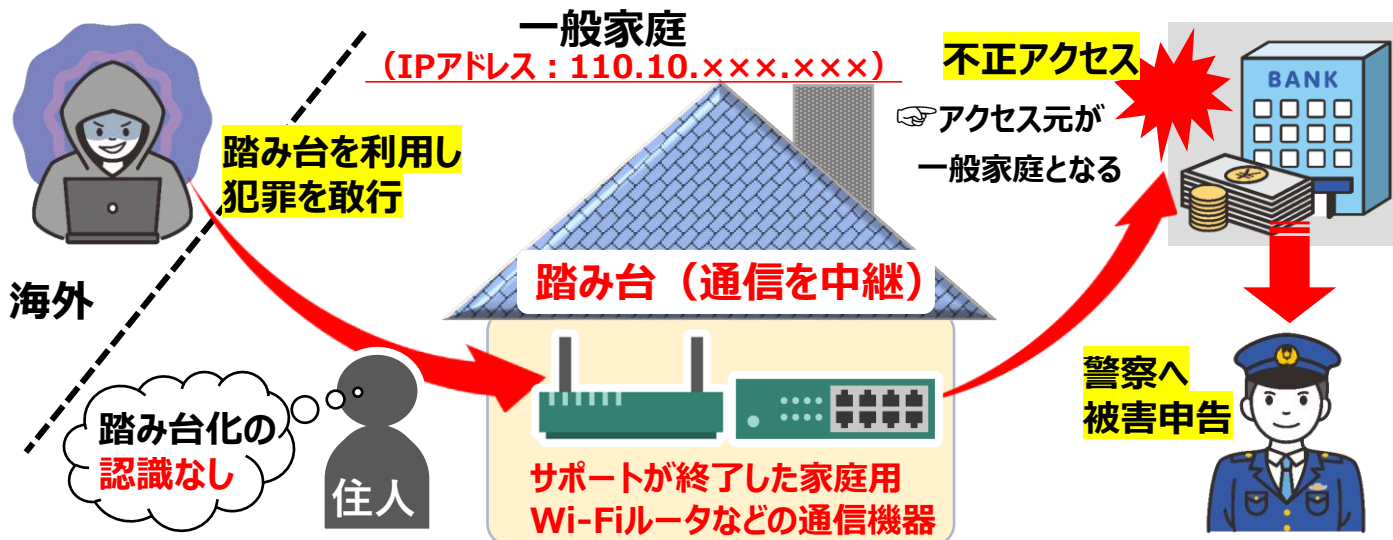




サポートが終了したWi-Fiルータ利用の危険性！

不正アクセス行為を中継する「踏み台」として悪用！

サポートが終了したWi-Fi ルータは、通信速度の低下や接続の不安定化といった性能面の問題に加え、近年、Wi-Fi ルータに残存する脆弱性を悪用したサイバー攻撃や、不正アクセス行為を中継する踏み台として悪用される事例が確認されるなど、サイバーセキュリティ上の深刻な脅威となっています。



サポート終了したWi-Fiルータの確認を！

Wi-Fi ルーターには、一般的にファームウェアと呼ばれる機器を制御するソフトウェアが搭載されています。

ファームウェアのサポート期間は製造メーカーにより異なりますが、概ね製造終了から3年～5年程度です。

2月1日から3月18日は、サイバーセキュリティ月間です。
この機会に自宅の家庭用Wi-Fiルータのサポート期間をメーカーのサイト等で確認してみてくださいはいかがでしょうか。

※ Wi-Fiルータなどのファームウェア更新期間について、法律で具体的な年数が定められているわけではありません。更新の提供は各メーカーの自主的な判断に基づくものであり、サポートが終了した機器を使用すること自体が違法となるものではありません。

ただしサポート終了後の機器では、新たに発見された脆弱性への対応が行われなくなるため、セキュリティリスクが高まる可能性があります。